

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第33週の発生動向

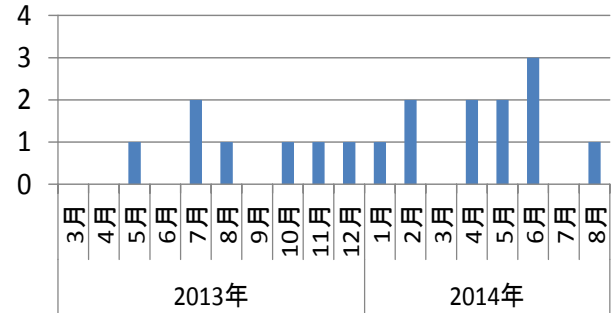
□ 今週のトピックス

・**重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)** (全数把握対象)の報告が日南保健所から1例あった。県内での報告は19例目となった。患者は70歳代男性、発症は8月上旬であった。ダニの刺し口は確認できず、海外渡航歴もなかった。

県内のSFTS 年齢別報告数 (例)

~40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代~
1	1	4	5	7	1

県内のSFTS 月別発症者数 (例) (届出開始以降)



□ 全数報告の感染症 (33週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、レジオネラ症1例。5類感染症：梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	無症状病原体保有者	—
			70歳代	男	結核性膿胸	呼吸困難
			80歳代	女	無症状病原体保有者	—
		小林	10歳代	女	患者	咳、痰、発熱
4類	重症熱性血小板減少症候群	日南	70歳代	男	患者	発熱、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少
	レジオネラ症	高鍋	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎
5類	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒 (Ⅱ期)	梅毒性バラ疹

《前週との比較》

□ 定点把握の対象となる5類感染症

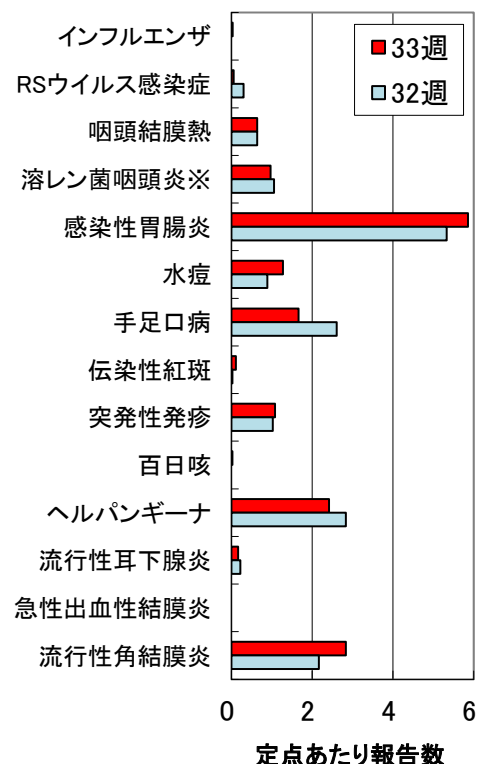
・定点医療機関からの報告総数は534人 (定点あたり17.3)で、前週比100%と横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

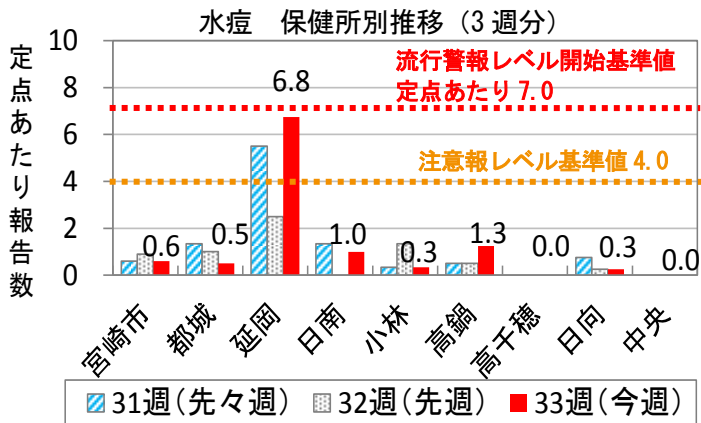
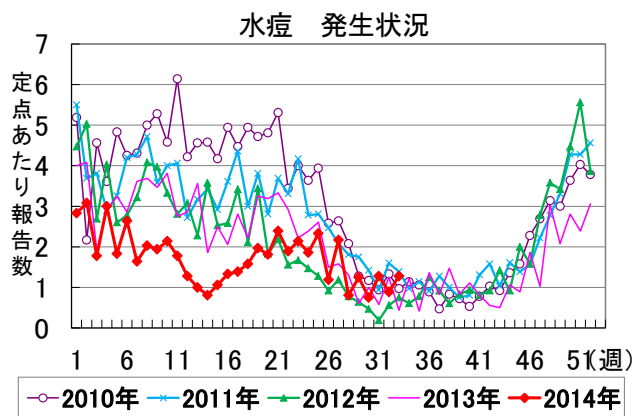
【水痘】

・報告数は46人 (1.3) で前週比144%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (1.2) の約1.1倍であった。延岡 (6.8)保健所からの報告が多く、年齢別では2歳から4歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週 (計15週) の平均値

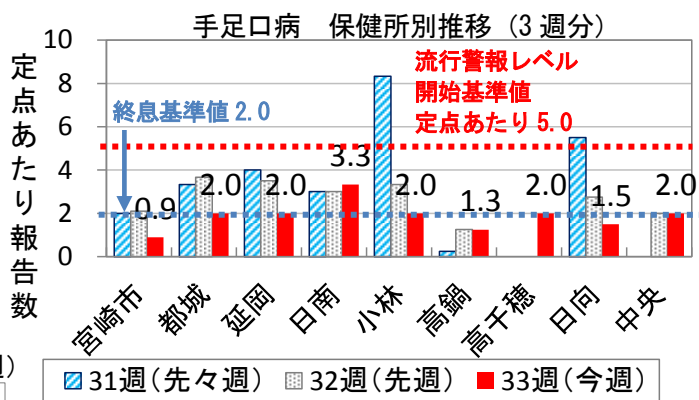
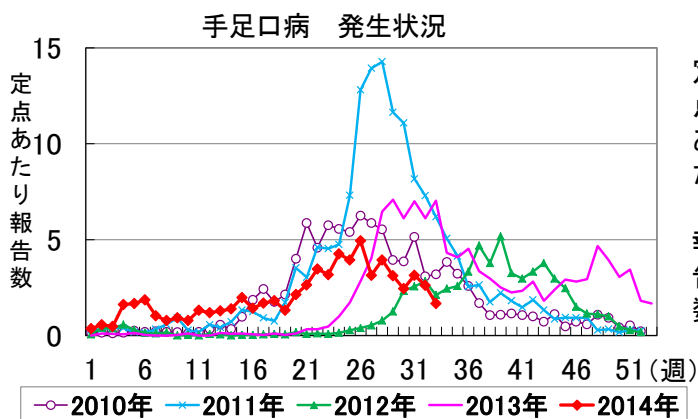


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



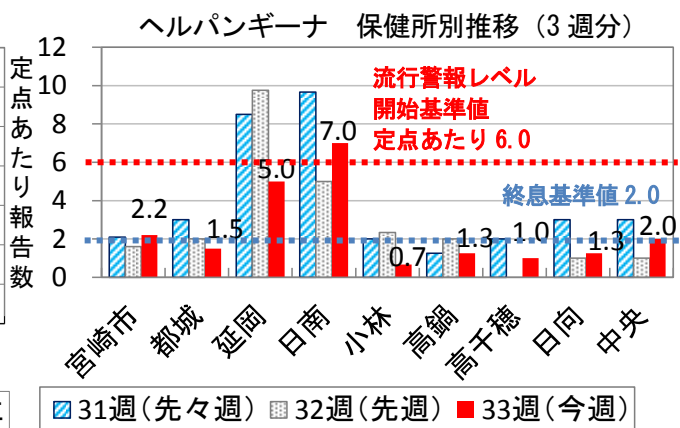
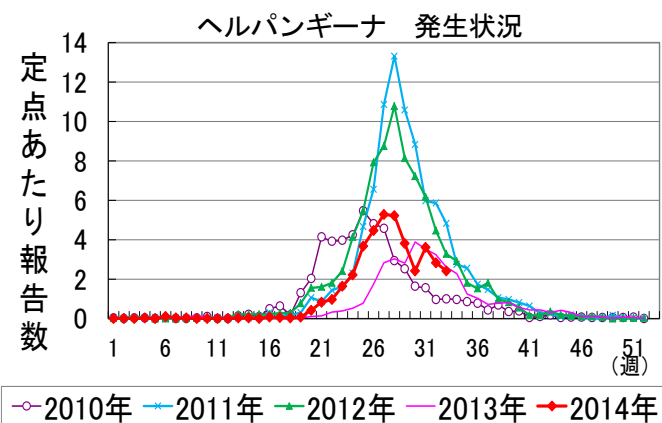
【手足口病】

・報告数は60人(1.7)で前週比64%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(4.1)の約0.4倍であった。年齢別では1歳から2歳が全体の約6割を占めた。



【ヘルパンギーナ】

・報告数は87人(2.4)で前週比85%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(2.9)の約0.8倍であった。日南(7.0)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から1歳が全体の約半数を占めた。



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	水痘(6.8)
日南	ヘルパンギーナ(7.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

流行警報レベル開始基準値

・ヘルパンギーナ(6.0)

流行注意報レベル基準値

・水痘(4.0)

★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：延岡保健所管内から1例報告された。患者は4歳。

📊 全国第32週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第32週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	371例				
3類感染症	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	296例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	4例
	デング熱	2例	日本紅斑熱	5例	ブルセラ症	1例
	マラリア	2例	ライム病	1例	レジオネラ症	21例
	レプトスピラ症	2例				
5類感染症	アメーバ赤痢	15例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	1例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	18例
	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	8例
	梅毒	26例	破傷風	2例	麻しん	4例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比92%と減少した。今週増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は伝染性紅斑とヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は551人(0.18)で、前週比129%と増加した。沖縄県(1.2)、佐賀県(0.78)、福岡県(0.77)からの報告が多く、年齢別では6ヶ月～1歳が全体の約7割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は11,485人(3.7)で、前週比85%と減少した。長野県(10.1)、山形県(10.0)、新潟県(9.3)からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第33週(08月11日～08月17日)

疾病名		第32週	第33週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		2	2								
	定点あたり	0.00	0.03	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	11	2			2						
	定点あたり	0.31	0.06	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	23	23	4	2	2	4	3	4	2	2	
	定点あたり	0.64	0.64	0.40	0.33	0.50	1.33	1.00	1.00	2.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	38	35	4	2	8	6		8	2	5	
	定点あたり	1.06	0.97	0.40	0.33	2.00	2.00	0.00	2.00	2.00	1.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	192	211	35	37	28	27	37	16	1	30	
	定点あたり	5.33	5.86	3.50	6.17	7.00	9.00	12.33	4.00	1.00	7.50	0.00
水痘	報告数	32	46	6	3	27	3	1	5		1	
	定点あたり	0.89	1.28	0.60	0.50	6.75	1.00	0.33	1.25	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	94	60	9	12	8	10	6	5	2	6	2
	定点あたり	2.61	1.67	0.90	2.00	2.00	3.33	2.00	1.25	2.00	1.50	2.00
伝染性紅斑	報告数	1	4	1		1	2					
	定点あたり	0.03	0.11	0.10	0.00	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	37	39	16	6	4	2	2	7		1	1
	定点あたり	1.03	1.08	1.60	1.00	1.00	0.67	0.67	1.75	0.00	0.25	1.00
百日咳	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	102	87	22	9	20	21	2	5	1	5	2
	定点あたり	2.83	2.42	2.20	1.50	5.00	7.00	0.67	1.25	1.00	1.25	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	8	6		1	2	1					2
	定点あたり	0.22	0.17	0.00	0.17	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	17	13	4							
	定点あたり	2.17	2.83	4.33	2.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～33週)

2類感染症	結核	129例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	11例(1)
	つつが虫病	5例	日本紅斑熱	4例	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	8例(1)				
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	6例	侵襲性肺炎球菌感染症	8例
	梅毒	9例(1)	破傷風	1例	風しん	1例
	麻しん	3例				

()内は今週届出分、再掲